



▲上空を飛ぶ撮影用セスナ機を見上げる児童たち



▲人文字づくりに笑顔で向かう児童



▲赤・青・黄の画用紙で描いた天願小の人文字（写真提供：航空写真家 寺下昌信氏）

天願小創立100周年  
記念人文字作成

7月5日、市立天願小学校の児童や学校関係者が、創立100周年を記念してグラウンドいっぱいには赤や青、黄色の画用紙を使って人文字を作りました。

航空写真は、今回発行する記念誌等に利用されることになっていきます。

撮影前日には、真夏の太陽がサンサンと照りつける中、父母らが人文字用に天願小の校章と100周年の文字などを数時間かけて作成。

位置に着いた児童たちは撮影用の飛行機が飛んでくると、武富悟教頭先生の合図で元気良く画用紙を頭上高く揚げ、校章を完成させました。

また、同校では7月から全校児童が古紙やアルミ缶を集めて業者へ売って得たお金を式典の一部に役立てようとして取り組んでいます。

7月5日、市立天願小学校の児童や学校関係者が、創立100周年を記念してグラウンドいっぱいには赤や青、黄色の画用紙を使って人文字を作りました。

航空写真は、今回発行する記念誌等に利用されることになっていきます。

撮影前日には、真夏の太陽がサンサンと照りつける中、父母らが人文字用に天願小の校章と100周年の文字などを数時間かけて作成。

位置に着いた児童たちは撮影用の飛行機が飛んでくると、武富悟教頭先生の合図で元気良く画用紙を頭上高く揚げ、校章を完成させました。

また、同校では7月から全校児童が古紙やアルミ缶を集めて業者へ売って得たお金を式典の一部に役立てようとして取り組んでいます。



▲私たち幼稚園児も人文字づくりに頑張るぞ



▲マングローブのスケッチをする子どもたち

環境に感心を持とう！～みんなで観察マングローブと水性生物～

6月17日マングローブの生態と水性生物の観察を通して環境に感心を持ってもらおうと、マングローブEEクラブ（NPO法人・平川節子代表）の観察学習が中城湾港新港地区州崎のマングローブテラスで行われました。市内外から親子や団体など45人が参加。参加者らはヒルギ、メヒルギなど5種類のマングローブの見分方法や水性生物の種類などを観察。「シオマネキ」などを見つけては「ここにもいた！」と楽しそうに声を上げました。

参加した仲宗根昌史、窪田隆希、比屋根大樹くん3人は「暑かったけどマングローブの種類や見分け方、水性生物の種類もわかってとても勉強になった」と話してくれました。

6月24日（土）夜・天願川旧河川（旧天願小学校跡地）で本市宇堅の長濱真盛さん「島の風土を育む会」がホタルの観察会を開催しました。

市内外から約80名の親子連れが参加し、幻想的なホタルの光に歓声を上げていました。以前この地域は、生活排水が流れ込み悪臭がひどかったが、下水道の普及もあってか5～6年前からホタルが飛び交うようになったとのこと。

主催した長濱さんは、「親子で楽しめる自然観察の場として活用してもらい、自然を大切にすることを養ってほしい」と述べました。

ほたるが帰ってきた！  
～天願川で観察会～



▲ほたるを見つけて指さす子どもたち



▲天願川で見られるオキナワスジボタル